

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-18	高等学校	商業	観光ビジネス	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	※教科書名		
7 実教	商業 738	観光ビジネス		

1. 編修の基本方針

- ・職業及び生活との関連を重視する態度を養う視点から、本文記述とともに実社会に即した具体的事例を「事例」として掲載した。
- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本文記述に関連した興味深い考察を「コラム」として掲載した。
- ・自主及び自律の精神を養う観点から、節の終わりに節の内容の理解度を問う「確認問題」を掲載し、自学自習に取り組めるようにした。
- ・主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、「事例」と「コラム」を基にした実習課題として「+ S t u d y」を掲載し、主体的・対話的に内容の理解を深める学習ができるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し	職業及び生活との関連を重視する観点から、修学旅行での行動をもとにして、観光ビジネスとの関係をイラストとともに描いた。地域で行われているさまざまな観光ビジネスの取り組みについてイラストで示し、生徒の生活と教科書で学ぶ観光ビジネスの内容との関連性や全体像がイメージできるようにした。(第2号)	巻頭巻末①②
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、日本の旅行業のはじまりの一例について資料とともに記述した。(第1号)	巻頭巻末③
	生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、大分県姫島村の脱炭素社会の実現に向けた取り組みを記述した。(第4号)	巻頭巻末④

	<p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、岐阜県高山市のユニバーサルツーリズムを目指す取り組みを取りあげ、あらゆる人々にとって過ごしやすいまちづくりを目指す意義について記述した。(第3号)</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、プレゼンテーションにおける代表的な資料の形式と、その作成時における留意点について記述した。(第1号)</p>	<p>巻頭巻末④</p> <p>巻頭⑤⑥</p>
Introduction	<p>勤労を重んずる態度を養う観点から、日本の今とこれからのなかで、将来的な更なる人口減少を説明するとともに、社会のあり方や経済活動の変化にともなうSociety5.0の目指す社会について記述し、デジタル技術の変化を活用し観光ビジネスに取り組んでいくことの重要性が理解できるようにした。(第2号)</p> <p>生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、観光ビジネスに取り組むことと、自然や伝統文化などのうえに成り立つ地域住民の生活との両立が可能であることを記述した。(第4号)</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、身近な地域の伝統文化や自然などの固有の魅力を活かして、観光ビジネスを行うことの意義が理解できるようにした。(第5号)</p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、各章で学習する内容を要約し、観光ビジネスと地域の活性化を体系的に学ぶことを記述した。(第1号)</p>	<p>p. 6, 7</p> <p>p. 7</p> <p>p. 7</p> <p>p. 8</p>
第1章	<p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本書における観光ビジネスの定義や、観光ビジネスによって地域の活性化に取り組むことの意義や重要性について記述した。(第1号)</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、伝統産業や伝統文化について記述した。(第5号)</p> <p>他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、多くの観光客が訪れている他国の取り組みについてや、他国との経済や文化の交流促進に観光ビジネスが寄与していることを記述した。(第5号)</p>	<p>p. 10, 24~27</p> <p>p. 15, 23, 24, 26</p> <p>p. 15, 18</p>

	<p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、シビックプライドの高まりによって主体的な社会参加が促されることについて、ゴシック体の用語をまじえて記述した。（第3号）</p>	p. 24
第2章	<p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、観光ビジネスに関連する主な産業についてゴシック体の用語をまじえて記述した。（第1号）</p> <p>職業及び生活との関連を重視する観点から、各産業が行う観光ビジネスの特徴を記述し、主な産業については業務内容についても説明することで、生徒の日常生活にも身近な観光ビジネスに関連する職業の業務内容をイメージできるようにした。（第2号）</p> <p>正義と責任を重んずる態度を養う観点から、旅行業、宿泊業、旅客輸送業については遵守すべき関連法規や約款について記述した。（第3号）</p> <p>豊かな情操と道徳心を培う観点から、宿泊業の接客におけるサービス、マナー、ホスピタリティとおもてなしについてを、イラストを活用して記述した。（第1号）</p>	<p>p. 30～63</p> <p>p. 30～63</p> <p>p. 36, 37, 43, 52</p> <p>p. 45～47</p>
第3章	<p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、観光ビジネスの顧客についてや、観光マーケティングの基礎的な理論について記述した。（第1号）</p> <p>他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、訪日外国人観光客の消費と行動の傾向を、国・地域別に記述した。（第5号）</p> <p>豊かな情操と道徳心を培う観点から、持続可能な観光を目指すサステナブルツーリズムについて説明した。（第1号）</p> <p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、地域の活性化を目指したdestinationマーケティングにおいては、地域の各主体と連携して観光ビジネスを行うことの重要性を、ゴシック体の用語をまじえて記述した。（第3号）</p>	<p>p. 66～93</p> <p>p. 72～75</p> <p>p. 77</p> <p>p. 79</p>
第4章	<p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、観光資源の基本的な内容や、新たな観光資源を生み出す方法などについてを、ゴシック体の用語をまじえて記述した。（第1号）</p>	p. 96～115

	<p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、国内の各種観光資源に加え、各種公園や各種文化財の概要について写真の例とともに記述した。(第5号)</p> <p>他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、世界遺産保護条約などを記述し、人類共通の遺産として保護することの重要性を理解できるようにした。(第5号)</p> <p>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、観光資源の保護や保全の意義や重要性について記述した。(第4号)</p>	<p>p. 96～115</p> <p>p. 97</p> <p>p. 111</p>
<p>第5章</p>	<p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、地方自治体が行う観光政策の基本的な内容について記述した。(第1号)</p> <p>職業及び生活との関連を重視する観点から、地方自治体における観光政策の取り組みの具体的な内容を説明し、身近な地域でも観光政策が行われていることをイメージできるようにした。(第2号)</p> <p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、観光客も観光地のまちづくりに関わっていることを示すべくレスポンスブルーツーリズムについて記述した。(第3号)</p>	<p>p. 118～133</p> <p>p. 118～133</p> <p>p. 132</p>
<p>第6章</p>	<p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、観光まちづくりの基礎的な内容について説明し、地域の活性化のためにどのような活動が行われているか、また活性化のためにどのような活動をするべきか、地域の活性化について主体的に考えることが出来るよう記述した。(第1号)</p> <p>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、観光公害について記述した。(第4号)</p> <p>自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、観光ビジネスを行うにあたって観光公害の発生を避けるために、地域の各主体が協力して観光まちづくりに取り組むことの重要性について記述した。(第3号)</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、地域資源について扱い、身近な地域に存在する地域固有の魅力について理解できるようにした。(第5号)</p>	<p>p. 136～165</p> <p>p. 141</p> <p>p. 141</p> <p>p. 138～140</p>

	<p>職業及び生活との関連を重視する観点から、インタビューコラムを設け、DMOが行う観光ビジネスの業務内容から、自身の生活において身近な地域の活性化のためにどのような取り組みが可能かをイメージできるようにした。(第2号)</p>	<p>p. 151</p>
--	--	---------------

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教科書の内容においては、職業との関連を大きな主題としており、授業を通じて勤労を重んずる態度の醸成ができるようにすることを取りわけ意識している。

教科書では、観光ビジネスに関する基礎的な知識や技術を習得させ、観光ビジネスに携わる一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、観光まちづくりによる地域の活性化に寄与することが出来る能力と態度の育成を目指している。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表， 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-18	高等学校	商業	観光ビジネス	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 738	観光ビジネス		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「観光ビジネス」を履修する生徒が，興味を持って学習しながら，基礎的・基本的な事項を無理なく習得できるように，以下の点に配慮した。

- (1) 節のはじまりで，その節の内容に関する問いかけを行い，生徒自身が学習の目的を意識しながら学習できるようにした。
- (2) 生徒が事例と関連付けて本文内容を理解できるように，本文記述に対応した具体的事例を「事例」としてまとめた。また，生徒の意欲を引き出すため，本文記述に関連する興味深い話題を「コラム」としてまとめた。
- (3) 生徒が主体的かつ協働的に学習に取り組むことができるように，「事例」「コラム」に対応した実習課題として「+Study」を掲載した。テーマに応じて「調べよう」「考えよう」「話し合おう」という三つの観点のなかから課題を設定し，多様な観点で学習内容を深められるように配慮した。
- (4) 「第1章 観光ビジネスの概要」では，観光とビジネスとの関係，観光ビジネスの意義や概要，重要性を記述するとともに，観光ビジネスの動向を理解する必要があることを示すために，学習指導要領の「(1) 観光とビジネス」の「ア 観光ビジネスの特徴」および「イ 観光ビジネスの動向」について取り上げた。また，「(2) 観光資源と観光政策」の「ウ 観光政策の動向」に関連し，国が行う観光政策について扱った。
- (5) 「第2章 観光ビジネスの主な産業」では，学習指導要領の「(3) 観光ビジネスとマーケティング」の「ア 観光ビジネスの主体」および「エ 顧客サービス」に対応し，観光ビジネスに関連する主な産業について，特徴や業務内容，安全管理の概要，地域との関係性などをまとめた。また，宿泊業の接遇に関する特集ページを設けた。
- (6) 「第3章 観光ビジネスのマーケティング」では，学習指導要領の「(3) 観光ビジネスとマーケティング」の「イ 観光ビジネスにおけるマーケティングの特徴」および「ウ 顧客の理解」に対応した。観光ビジネスの顧客についてや，観光マーケティングに関する基本的な理論を取り上げる際に，事例やコラムを用いて丁寧に説明した。また，観光マーケティングに関して主体的に取り組むために，実習ページを設けた。

- (7) 「第4章 観光資源の発見と活用」では、学習指導要領の「(2) 観光資源と観光政策」の「ア 国内の観光資源」, 「イ 観光資源の保護と保全」および「ウ 観光政策の動向」に対応した。各観光資源の種類を写真とともに説明し、身近な地域や日本全国の観光資源に生徒が関心を持てるようにした。
- (8) 「第5章 地方自治体の観光政策」では、学習指導要領の「(2) 観光資源と観光政策」の「ウ 観光政策の動向」に対応し、観光ビジネスの主体の一つとして、地方自治体が行う観光ビジネスの取り組みについて政策的な視点から記述した。
- (9) 「第6章 観光ビジネスと観光まちづくり」では、学習指導要領の「(4) 観光ビジネスの展開と効果」の「ア 観光振興とまちづくりとの関係」, 「イ 観光に関する地域の課題」および「ウ 地域の活性化」に対応した。地域資源を活用した観光まちづくりの効果や意義について学び、具体的な観光振興策の立案を通して効果的な観光まちづくりを提案する方法について記述した。
- (10) 側注欄に、地域で観光振興に活躍するキャラクターの吹き出しを掲載し、内容の理解を助ける役割を与えた。
- (11) 側注欄に、重要用語の意味をまとめた「Word」を掲載し、用語の意味が理解しやすくなるようにした。
- (12) 本文下には適宜参照ページを示し、教科書全体の流れをつかみ、相互の内容について理解が深まるようにした。
- (13) 巻末では、本書(申請図書)の重要用語をまとめた「重要用語のまとめと解説」を掲載した。
- (14) 基本的な用語については、英語表記に慣れ親しむことができるように、英訳のルビを振った。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1章 観光ビジネスの概要	(1) 観光とビジネス	p. 10~12	(15)
1節 観光ビジネスの担い手と特徴	ア 観光ビジネスの特徴		3
2節 観光ビジネスの動向	(1) 観光とビジネス イ 観光ビジネスの動向	p. 13~17	5
3節 日本の観光政策	(2) 観光資源と観光政策 ウ 観光政策の動向	p. 18~21	3
4節 観光ビジネスと地域	(4) 観光ビジネスの展開と効果 ウ 地域の活性化	p. 22~28	4
第2章 観光ビジネスの主な産業	(3) 観光ビジネスとマーケティング	p. 30~64	(26)
1節 旅行業	ア 観光ビジネスの主体		6
2節 宿泊業	エ 顧客サービス		6
3節 旅客輸送業			6
4節 娯楽業			4
5節 その他の産業			4

第3章 観光ビジネスのマーケティング 1節 観光ビジネスの顧客	(3) 観光ビジネスとマーケティング ウ 顧客の理解	p. 66～75	(20) 6
2節 観光ビジネスにおけるマーケティングの意義 3節 観光ビジネスのマーケティング戦略	(3) 観光ビジネスとマーケティング イ 観光ビジネスにおけるマーケティングの特徴	p. 76～94	4 10
第4章 観光資源の発見と活用 1節 観光資源とは何か	(2) 観光資源と観光政策 ア 国内の観光資源	p. 96～110	(14) 8
2節 観光資源の保護と保全	(2) 観光資源と観光政策 イ 観光資源の保護と保全 ウ 観光政策の動向	p. 111 ～116	6
第5章 地方自治体の観光政策 1節 地方自治体の観光政策の概要 2節 地方自治体の観光政策の実施内容	(2) 観光資源と観光政策 ウ 観光政策の動向	p. 118 ～134	(10) 4 6
第6章 観光ビジネスと観光まちづくり 1節 観光まちづくりとは何か 2節 観光まちづくりと地域活性化のプロセス	(4) 観光ビジネスの展開と効果 ア 観光振興とまちづくりとの関係 イ 観光に関する地域の課題 ウ 地域の活性化	p. 136 ～166	(20) 8 12
		合計	105